

イントロダクション

☆講義内容☆

- ・ 英語の時を表す表現について、全体の整理の仕方と個々の解説

☆講義を受ける際の注意☆

- ・ 資料はかならずダウンロードし、印刷すること。
(プリントに書き込んでいく形式で授業をします)
- ・ 予習は不要/復習をしっかりと

※板書での色の使い分けについて

- ・ 白は基本の色。ノートでは黒色の筆記具を使ってください。
- ・ 黄色は文字の強調。黒板でもっとも目立つ色なので、大事な文字は黄色で書きます。ノートでは赤など、「大事」ってことがわかる色を使ってください。
- ・ オレンジは図の強調。大事な図を囲ったり、下線を引いたりするのに使います。
ノートでは、先ほどの「黄色」と同じ色でも構いません。
- ・ その他の色は単なる色分け。白だけでは見にくいときに使います。ノートでは、第2、第3の色を使ってください。

復習の方法について

英語という科目の中で、英文法を学ぶのは何のためでしょうか。

たとえばセンター試験第二問のような、四択型の文法問題を解けるようになるため？ ——答えはノーです。それは、文法学習の副次的な効果にすぎません。

英文法を学ぶのは、**英文を読み・書き・聞き・話すことができるようになるため**です（もちろん、文法だけでなく語彙の習得や発音の訓練も必要ですが）。

そのためには、英文法のルールをことばで覚えることは最終目標にはなりません。そうではなくて、**実際に例文をひとつ作れること**のほうがはるかに重要です。具体例を挙げれば、「時および条件を表す副詞節の中では未来のことでも現在形で表す」というルールを言えることよりも、「Will you call me when he comes back?」という文を言えることを目標にしてほしいのです。

ですから、講義の復習も、“次の舞台”に代表されるような手持ちの分厚い文法問題集をゴリゴリ解く……ということも必要ではありますが、それだけでは不十分です。それよりは、授業で扱った例文を大切にしてください。

目指すゴールとしては、プリントに載っている**例文はすべて、Step 1：英文を見て瞬時に日本語で意味が言える→Step 2：訳文を見て瞬時に英文が言える**ことです。

効果的な復習方法は、音読です。プリントの例文——だけではなくて、今後あなたが受験勉強で出会う英文はすべて——**最低でも 20 回**は音読しましょう。

とはいえ、やみくもに音読しては効果はあがりません。正しい方法で取り組むことが大切です。正しい音読の方法についてはここに書いていと長くなってしまいますので、各自ウェブで検索してください。「英語 音読」と検索して上位に出てくる検索結果は、信頼して構わない内容です。

それでは、がんばっていきましょう。

If you can dream it, you can do it.

——ウォルト・ディズニー